

麻しん（はしか）患者の発生について（第3報追加分）

4月22日(日)、名古屋市内の医療機関から名古屋市保健所に、「4月12日(木)に名古屋市が公表した麻しん患者と接触していた可能性のある受診者に、発熱等の症状がある」旨の情報提供があり、名古屋市衛生研究所が検体について遺伝子検査を実施したところ、23日(月)に2名麻しん陽性であることが判明しました。

その後、本市が患者の疫学調査を実施し、下記の内容を把握しました。

市内の医療機関及びその他施設において当該麻しん患者と接触した可能性のある方については、5月11日(金)まで名古屋市保健所等が健康観察を実施します。また、4月19日(木)に下記の公共交通機関を利用した方で、麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関にご連絡の上、速やかに受診を促すところとなります。

1 患者の概要・行動等

	患者の概要・行動等	
患者	患者A	患者B
職業等	中学生	中学生
年・性別	10歳代 女性	10歳代 女性
接種歴	なし	なし
9(月)※	受診(名古屋第二赤十字病院)	受診(名古屋第二赤十字病院)
17(火)	通学	通学
18(水)	通学	通学
19(木)	通学 学習塾A利用 (18時~19時 地下鉄鶴舞線利用)	欠席
20(金)	受診(医療機関B)	受診(医療機関B)
21(土)	休日	休日
22(日)	受診(名古屋第二赤十字病院)	受診(名古屋第二赤十字病院)

※4月9日(月)の10時から13時に麻しん患者(12日公表の10歳代男性)は、医療機関Aを受診していました。

※※従来、医療機関Aと表記しておりましたが、当該医療機関において感染拡大防止の観点から症例の発生についてホームページにて公表したことを踏まえ、医療機関名を明示して再度資料提供します。

2 麻しん（はしか）について

- 4月11日、本市において麻しんの患者が発生（12日公表）以降、4月21日には、最初の患者と接触した可能性の高い患者が発症し、23日（月）に2件の発生が新たに確認されました。
- 今後、さらに麻しんが広がる可能性があるため、麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡し、麻しんを疑う旨を伝えた上、医療機関の指示に従い早急に受診していただくことが大切です。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないよう公共交通機関の利用は避ける必要があります。
- 1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、MRワクチンの定期予防接種を忘れずに実施することが肝要です。